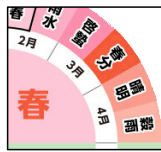




ロクハの自然



ああああ ロクハ公園は 今日も 雨だった

運悪く、今週も火曜日が雨でした。こんなに雨が続き春先は初めてののような気がします。菜種梅雨や催花雨などの雨にちなんだこの時期の言葉をよく耳にしました。

週刊「ロクハの自然」は2021/4/6から毎週届けて156号まで数えました。3年各季節を追ったのである程度網羅できたかと思えます。これらの情報を活かし、その月々の紹介をできるような紙面を検討しています。また、お付き合いください。

徹底的に雨話題を

全国的にも話題になった琵琶湖の水位低下は、年明け後例年の降雪も幸いして右肩上がりでした。この雨でいっしょにプラスに転じました。公園の池は湧水が続きジャブジャブ小川への揚水もできない状況でした。



朝から雷が鳴りすごい雨でした。①多目的広場の周りは排水用に低くなっていますが、水が集まり川のような状態です。②ジャブジャブ小川の飛び石の池が、雨水だけで満水は久しぶりです

③川原池は先週まで④の写真のようでしたが、満水で排水口の高さを超えました。



公園内のソメイヨシノのつぼみ

公園内のソメイヨシノは木によって多少の違いがあり、この長雨時の気温の低さで開花遅れていますが準備は進んでいます。③は明日気温が上がれば開くかも。



寒緋桜の仲間はソメイヨシノより少し早い、①はバーベQ広場近くの木、花が開いていました。②スポーツ広場の木、直前です。



ハクモクレン。大きな花びらが花柄から飛び出しています。



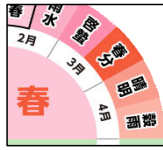
大雨の水たまりを使ってツグミなど水浴びに懸命でした



水浸しのピンクの椿 新芽が膨らんできたイチヨウ



ロクハの自然



明日は春分の日 暑さ寒さも彼岸まで

サクラの開花や春を迎える一つとして伊吹山のドライブウェイの来月20日の準備が進められている報道がありました。積もっている雪を除雪されているのですが明日は冬将軍の再来、降雪予報も。



ユスリカを食べるオシドリ

ものすごい数のユスリカで、蚊柱が立っているところもあります。今日確認したオシドリは、7スが4羽メス5羽でした。他の水鳥に比べオシドリたちは一生懸命食べてました。お腹がふくれるのか心配です



2番桜にメジロがいっぱい

川原池の周りに見られる満開の桜。一番桜と同じくシナミザクラです。メジロがたくさん来ていて蜜を吸っていました。右の写真はソメイヨシノまだまだです。



ヒサカキの花の匂いが漂っています



雌株のめ花



雄株の雄花



トサミズキ

生垣として植えられているものと種が運ばれ自生しているものがあります。黒い実は鳥の大好物。この木は雌雄異株です。花の中をのぞくと、柱頭がしっかり見える雌花がある株とオシベが見える雄株があります。



ユキヤナギ



スノーflake



モクレン

ロクハの自然



毎週火曜日は「ロクハの自然」の取材日・連続して雨になると困ります

先週に続いて今週も雨の火曜日。来週になると今度は春盛りの日がやってくると報じています。先日のびわこマラソンではランナーの背景に、ふもとまで雪化粧の比良山がうつり映えてました。「春よ来い」



入ってきたと思われるグループ



もともといたと思われるグループ



3/10

もうじき北帰行・オシドリ集結？

このところ3組ぐらいのオシドリたちを観察していましたが、南ゲートの池のフェンス近くにオレンジ色がたくさん見えました。よく見えるスポーツ広場にまわり観察すると、ちがう群れが入ったと思われます。4羽が何度も飛び回ります。昨年の最終確認は3/20、みんな集まって帰るのでしょうか。



ツグミ



ハクセキレイ



ヤマバト



ヒヨドリ

雨の中、背中に水滴を置く鳥たち。個体差が種類のちがいはじき具合がちがう

3/11 翌日の雨を想定して春らしい木々の様子などを記録しました



スポーツ広場のウメ



いつの間にかカツザクラが



ロクハニ番桜



ハナモモのツボミふくらむ



キタテハ



ハナニラの花



ハナアブ

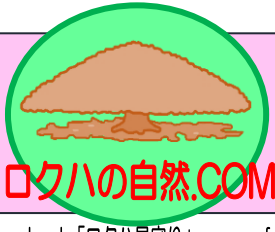


びわこをはさんで比良山系の借景

暖かくなって虫が動き出すのを首を長くして待っています。

まずは一輪、花をつけました。正三角形の配置の花びらがスキッとしています

今年の冬は暖冬で雪が少なく、比良の暮雪の景色が早くなる心配していました。他所で下まで白い伊吹山確認。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 http://www.park-698.net/zukan/



いよいよ啓蟄 でも冷たい雨が

この日こそ動き出した虫特集をと思っていましたが、公園に出向くのに躊躇する冷たい雨、カッパ・長靴はいて傘さして歩きました。琵琶湖の水位は-20CM代に回復してきました。川原池の水も

春雨よりきつい感じの雨の多目的広場 散歩者が少ないので鳥が我が物顔で歩き回っています



多目的広場どこを見回しても鳥の姿が見えるぐらいに地面に降りています。人がいない広場で遊びまわっているだけでなく食べるものを求めて歩いています。種類によって食べるものはちがいますが植物の種が多いです。一番数が多いのはイカルの群れ30羽ぐらいの群れが一齐に降ります。一週間前はエノキの実ねらいでしたが、この日はケヤキ、モミジの種を食べています。直接食べているものまで見えませんが降りる場所です。カララビロはアキニシの実ヒヨドリはクスノキの実です。シロハラとツグミは草むらの虫やミミズをねらっています。他の場所でもこの時期は鳥たちが地表にエサを求めます。木についていた実が食べつくされてきたこと、たんぱく源の虫たちはまだ樹上に少ないことなどが考えられます。この公園の地上には、猫という危険が潜んでいますが、背に腹は代えられないという状況です。



連日で会うルリビタキ
冬にやってくる渡り鳥で何回も出たい鳥の代表選手。オスの琉璃色を目指します。このところよく出あいます。林の中の木の実を中心の食事から、実が少なくなったことや、虫が動き出したことによるものかもしれません。出たいと思ったらよく出るポイントで1時間待てば必ずと言えるぐらいです。



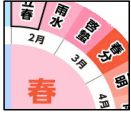
テントウムシが動き出した
日当たりのいい草っぱらをじっと眺めていたら、走り回るナナホシテントウにでいました。この日の午前中の観察会でみんなが見つけたので記録をしに来ました。じっとしないです。歩き回っています。これは狩りをしていてエサになる小さな虫をさがしているのです。見えなくなったので探したら死んだふりをした個体に出会いました。この時は40秒ぐらいじっとしていました。動き出すのを見て勝ち誇った気持ちでした。

机の下で雨をしのぐ、エサやり人に飼ならされた猫。気の毒な気がしました



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



雪がちらつきました

この1週間は、しっとりと雨が降りました。気温も低く足ふみをしていました。夏日を記録するような天候の時、冬用のスタッドレスはもういいかと思い始めてましたが、まだまだです。草花や虫を追いかけたいのですが



ロクハ一番ザクラ



春の使者一番のツクシしをロックオン。日々背丈を伸ばしています。この週末の観察会では容易に見つけれらるくらいになってました。勝手に命名している「ロクハ一番ザクラ」あと1日おひさまを浴びたら開花するでしょう。



表に出てきたシロハラ。ヤマハゼの実を食べに来ました。一度に20粒くらい食べました



春告げ鳥のウグイス、今日は地鳴きだけでしたが2日前にはケキョ・キョなどと鳴く練習をしていました



年の暮れから咲き続けるセイヨウヒイラギナンテン、まもなく終了。捕まえられそうな距離で食事

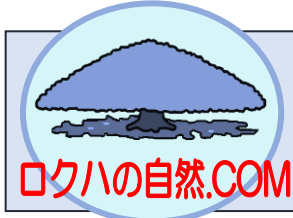


スポーツ広場で盛んについばむ鳥たち。ツグミ・ムクドリ・スズメ 組み合わせが珍しい。いざこざなく仲良く食べる



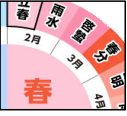
だいすきなエノキの実を食べようとたくさんのイカルが葉っぱみたいに降りてくる。その中に混じったコイカル・たくさんのバードウォッチャーを集めました。1/1000の確立に挑戦の日々 奈良・大阪・京都 なんと湘南ナンバーまで





ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



え！夏日、一転、平均以下の寒い日が続くとか

気温差がすごいです。初夏から真冬に転じる感じです。天気の長期予報を見ながら案じています。そろそろサクラのニュースが出始めています。目まぐるしい気象状況はサクラにどう響くか気にしています

レンジャク特集 ヒレンジャク キレンジャク

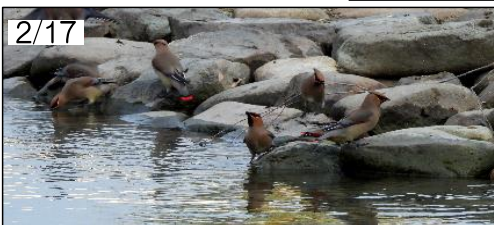
越冬のため飛来しますが、越冬地やルートははっきりしないようです。ロクハ公園で以前にしっかり観察されたのは2020年2月、次は2021年5月で、いつ出会えるかわからない感じです。同じような時期の2020年2月・ふれあい広場のクロガネモチを食べつくした行動をもとに、今回の観察を続けました。ヒレンジャク（緋連雀）とキレンジャク（黄連雀）がロクハ公園での観察ではヒレンジャクが多く、全国的な分布でも西日本ではヒレンジャクの数が多いようです。2種は翼や尾羽の先の色で見分けますが、詳しく見ると体型やお腹の色など違いがあるみたいです。



1/20今季初 2/7 梢の7羽の確認情報 2羽の確認情報



2020年の飛来の時も同じような間隔で徐々に増えていきました。今回の情報収集はロクハ公園の愛鳥家で構成しているLINEグループで情報を共有しあいました。前は現地情報集めていたから大きな変化です。前の情報をもとに予想行動がとれました。写真の数の変化は私が記録した時ですが、それぞれの個別の観察では点でしか感じない変化ですが、複数の人の記録は線となり大きな動きが見えます。2/17の夕刻には120羽の情報が入りました。2020年の記録より多いようです当然、未確認の情報もあり多く見られる時間帯や場所をみんなで予想していきました。レンジャク情報を見ていると30羽ぐらいの群れで多い時は100羽を超えるなどの表現がありました。今回のロクハ公園の場合はかなり大きな集団になったようです。



2/20 この日は確認できませんでしたが、夕刻に20羽ほどの情報が入りました。トウネズミモチの実から始まりクロガネモチの実に移ってます。2020時には同じ集団が、同じ木のみを食べつくすまでいました。今回は、これが少しあまいです。給水はすぐ近くの川原池。たくさんのバードウォッチャーが集まりました。京都からの10名のグループにも出会いました。神奈川県の方から様子をうかがう連絡が公園事務所に入りました。観察場所が道路近くだったので事務所の計らいで駐車場を撮影場所として開放していただきました。散歩者もいっしょにという場面もありました。